

小中一貫教育の推進	中期（3年間）経営目標	短期（今年度）経営目標	目標達成のための手立て	評価指標	自己評価		学校関係者評価		改善計画
					2月評価	結果と課題の説明	適正	意見等	
確かな学力	学力の三要素、資質・能力を育成する「主体的な学びを促す授業」の実践	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を常に追求する。 (3/3)	①「学びの向かう力」の育成に向けた児童の具体的な姿をゴールイメージした深い学びの追求 (「課題発見・解決学習」「ベスト発問」「対話的な学び」「アウトプット」)	① 算数科単元テストの観点（知識理解・技能・思考）：到達度各83% 国語科単元テストの観点（読解）：80% ② 教職員質問紙12項目：75% ③ 「課題発見・解決学習」等児童質問紙19項目：85% ④ 資質・能力に関する児童質問紙8項目：87%	A	◎算数科単元テストの観点 ・知識・理解90%（達成率108%）⇒90%（達成率108%） ・技能90%（達成率108%）⇒88%（達成率106%） ・思考84%（達成率101%）⇒83%（達成率100%） ◎国語科単元テストの観点 ・読解91%（達成率113%）⇒91%（達成率113%） □引き続き、個別の支援を組織的に実行し、定着を図る。 □適用問題で技能・知識・思考を問う問題をさせる。 ◎教職員質問紙 7月69%（達成率92%）⇒12月79%（達成率105%） □どの項目も数値が上がっている。児童に目標を明確にして指導ができている。国語科でのパフォーマンス課題を単元を貫き、問ととらえて取り組んでいく。 ◎児童質問紙 91%（達成率107%）⇒92%（達成率108%） ・「自らへの自信」についての数値が上がっている。肯定評価など適宜に行っていると考えられる。総合的な学習の時間の項目が低い。協働的・対話的・主体的に学ぶ学習の流れを作っていく必要がある。 ◎資質・能力質問紙 7月95%（達成率109%）⇒12月96%（達成率110%） ・どの項目も95%以上の中、「見通し・筋道を立てて考える」ことができていると回答する児童は93%で変わりなかった。授業改善を進めていく。	○	・到達度に対する達成率を記入してあるが、100%を目指して今のくらいを達成率として示したほうがわかりやすい。 ・学力を上げるための先生方の努力はよくわかる。これからも具体的な取り組みをしっかりとてほしい。個別指導ができるやり方がいい。	○到達度の目標数値を上げる ・達成率を示さずその時の到達度を記入する。 ○学力補充の仕方を改善する。 ・普段からできる方法を考え、具体的に取り組みていく。
					A	◎地域人材の活用（1・2年生生活科、3・5・6年生総合、5年家庭科、読書ボランティア、体育科の陸上指導）・地域への参画・貢献（児童会一夢ツリー）1回以上達成 ◎児童会目標の反省平均95%「できた」(達成率106%)⇒97%（達成率108%） ▼保護者アンケート平均72.7%（時72%・場84%・礼89%・学58.5%）(達成率90%)⇒平均78.5%（時80%・場75%・礼87%・学72%）(達成率98%) □児童会目標達成している。家庭教育で前回は申し分ないもの達成できなかった。学級懇談などで啓発をしていく。	○	・コミュニティ・スクールの中で、地域と学校が動いている姿は見えるが、PTAとして動いているように見えない。行事をするにあたり、動ける人は参加できなく実行するほうとして動いてほしい。 ・組織図としてはどうなるのか。意識の共有と実行を図る。	○PTAと運動した取り組みが出来るように連携する。総会等で啓発する。 ・組織図を示し周知する。 ○児童会生活目標の週ごとの振り返りを意識して取り組む。 ○保護者アンケートの項目・回数を改善する。
地域と創る学校	子供を中核にしたCSの充実・発展	めざす子ども像に向けCS・PTA・児童会が主体的に動く。 (2/3)	① コラボレーション（翁山ツリー・白壁まつり・ひなまつり） ② 「北小4カ条」の家庭教育と児童会目標の運動 時を守る（9月・1月） 場を清める（7月・12月・3月） 礼を尊ぶ（6月・11月） 学を磨く（5月、10月）	① 地域人材の活用・地域の教材化・地域への貢献や参画：各学年学期1回以上 ② 児童会生活目標自己評価：90% 保護者アンケート：80%	A	◎道徳アンケートで肯定的評価92.6%（達成率115%）⇒95.8%（達成率118%） □振り返りに学習で統一して「あやめ」の項目を入れたことによって、自分の考えや友達からの考えから学んだことをより具体的に振り返ることができた。	○		○継続して行う。
					C	◎道徳アンケートで肯定的評価92.6%（達成率115%）⇒95.8%（達成率118%） □振り返りに学習で統一して「あやめ」の項目を入れたことによって、自分の考えや友達からの考えから学んだことをより具体的に振り返ることができた。	○	○ステップアップノートを活用する。	
小中高一貫教育の創造	上下地域の児童生徒の一貫教育の推進	道徳教育の実践研究により、児童生徒が自己の生き方を見つめ課題解決していこうとする態度を育成する。 (1/3)	① 議論する道徳・体験的協働的な道徳の推進（推進リーダーの下、小小・小中の連携や、学校と地域の連携による効果的な指導について実践研究する。） ② 個の変容を促し、意欲を高める評価と振り返り（場や対象が異なっても、自らへの自信を持ち、積極的に表現する。）	① 道徳ノート等の振り返りで肯定的評価：80%以上 ② 「自分につけるあゆみ7積極的に表現」：自己評価80%	A	◎2回⇒1回（夢ツリープロジェクト）	○		○継続して行っていく。
					A	◎「6つの合言葉」96%（達成率103%）⇒95%（達成率102%） （「ははよう」96%⇒97%、「ありがとう」99%⇒96%、「ごめんね」96%⇒96%、「だいじょうぶ」96%⇒95%、「すこしね」97%⇒93%、「いっしょにしよう」96%⇒95%）	○	○継続して行っていく。	
小中高一貫教育の創造	上下地域の児童生徒の一貫教育の推進	義務教育学校の特例を生かした教育課程の創造 (1/3)	③「上下学・小中高合同清掃活動・小6の中学校登校」（学校間の教育内容の系統性と一貫性を持たせた実践と評価改善を行う。） ④「6つの合い言葉・ひかりの木・北っ子ロング休憩」	③ 小・中・高と連携した活動を学期1回以上行う。 ④ 「6つの合言葉」：自己評価93%	A	○「睡眠の大切さ」「睡眠と学力」等保健によりで保護者啓発を行った。 生活調へ「早寝守りね」6月81%⇒11月79% ○「う歯治療」については、個人懇談、健康の意識、児童会副幹で受診を勧めた。 う歯治療率7月2.4%（17人中4人）⇒1月5.9%（17人中10人） ○児童・保護者対象に運動器については、黒木整形外科黒木先生、靴の選び方・歩き方姿勢についてお話をたくさんご講演していただきました。 ▼新体力テスト県平均以上6.3/9.6項目 達成率84% □ワースト1の走力の改善について専門体育や体育の授業の準備運動として改善できるよう取り組む。 □マラソン大会において、ワークシートや北小ギネスを利用して、児童のモチベーションを高め、持久力を養うことができた。3学期も同様に練習大会大会に向けて継続して取り組む。 □8月に「ソフトボール投手」の効果的指導ポイントを中学校教諭による演習により指導法を研修することができた。	○		○う歯治療報告は根気よく行っていく。 ○生活指導でも継続して行い、ノーマディアダーを設定し再組む。 ○全学年で体育の準備運動に「ショートダッシュ」を取り入れる。 ○月1回ロング休憩を行い運動に親しませ、運動をする楽しさを習慣づける。
					C	○「睡眠の大切さ」「睡眠と学力」等保健によりで保護者啓発を行った。 生活調へ「早寝守りね」6月81%⇒11月79% ○「う歯治療」については、個人懇談、健康の意識、児童会副幹で受診を勧めた。 う歯治療率7月2.4%（17人中4人）⇒1月5.9%（17人中10人） ○児童・保護者対象に運動器については、黒木整形外科黒木先生、靴の選び方・歩き方姿勢についてお話をたくさんご講演していただきました。 ▼新体力テスト県平均以上6.3/9.6項目 達成率84% □ワースト1の走力の改善について専門体育や体育の授業の準備運動として改善できるよう取り組む。 □マラソン大会において、ワークシートや北小ギネスを利用して、児童のモチベーションを高め、持久力を養うことができた。3学期も同様に練習大会大会に向けて継続して取り組む。 □8月に「ソフトボール投手」の効果的指導ポイントを中学校教諭による演習により指導法を研修することができた。	○	○う歯治療報告は根気よく行っていく。 ○生活指導でも継続して行い、ノーマディアダーを設定し再組む。 ○全学年で体育の準備運動に「ショートダッシュ」を取り入れる。 ○月1回ロング休憩を行い運動に親しませ、運動をする楽しさを習慣づける。	
健やかな体	健康な心と体を育成する「よき運動・生活・食の習慣」の追求	よき生活習慣とたくましい体を育成する。 (3/3)	① 「早寝・う歯治療・運動器等」に係る啓発（3項目を重点項目に設定し、家庭教育・幼児教育と連携して推進する。） ② 「北小ギネス・北っ子のびのび体操・北っ子トレーニング」「食育19の日」	① 3項目について学園で連携し、各学期1回以上啓発する。 ② 新体力テスト県平均以上7.2/9.6項目→7.5項目	A	○「睡眠の大切さ」「睡眠と学力」等保健によりで保護者啓発を行った。 生活調へ「早寝守りね」6月81%⇒11月79% ○「う歯治療」については、個人懇談、健康の意識、児童会副幹で受診を勧めた。 う歯治療率7月2.4%（17人中4人）⇒1月5.9%（17人中10人） ○児童・保護者対象に運動器については、黒木整形外科黒木先生、靴の選び方・歩き方姿勢についてお話をたくさんご講演していただきました。 ▼新体力テスト県平均以上6.3/9.6項目 達成率84% □ワースト1の走力の改善について専門体育や体育の授業の準備運動として改善できるよう取り組む。 □マラソン大会において、ワークシートや北小ギネスを利用して、児童のモチベーションを高め、持久力を養うことができた。3学期も同様に練習大会大会に向けて継続して取り組む。 □8月に「ソフトボール投手」の効果的指導ポイントを中学校教諭による演習により指導法を研修することができた。	○		○う歯治療報告は根気よく行っていく。 ○生活指導でも継続して行い、ノーマディアダーを設定し再組む。 ○全学年で体育の準備運動に「ショートダッシュ」を取り入れる。 ○月1回ロング休憩を行い運動に親しませ、運動をする楽しさを習慣づける。
					C	○「睡眠の大切さ」「睡眠と学力」等保健によりで保護者啓発を行った。 生活調へ「早寝守りね」6月81%⇒11月79% ○「う歯治療」については、個人懇談、健康の意識、児童会副幹で受診を勧めた。 う歯治療率7月2.4%（17人中4人）⇒1月5.9%（17人中10人） ○児童・保護者対象に運動器については、黒木整形外科黒木先生、靴の選び方・歩き方姿勢についてお話をたくさんご講演していただきました。 ▼新体力テスト県平均以上6.3/9.6項目 達成率84% □ワースト1の走力の改善について専門体育や体育の授業の準備運動として改善できるよう取り組む。 □マラソン大会において、ワークシートや北小ギネスを利用して、児童のモチベーションを高め、持久力を養うことができた。3学期も同様に練習大会大会に向けて継続して取り組む。 □8月に「ソフトボール投手」の効果的指導ポイントを中学校教諭による演習により指導法を研修することができた。	○	○う歯治療報告は根気よく行っていく。 ○生活指導でも継続して行い、ノーマディアダーを設定し再組む。 ○全学年で体育の準備運動に「ショートダッシュ」を取り入れる。 ○月1回ロング休憩を行い運動に親しませ、運動をする楽しさを習慣づける。	